



これも正解…



正解…

正解…



まさか  
本当に…

流石としか  
言いようがね  
ありませんがね

執事  
ヴォルフ



全問正解  
まあ当然だよな

マーシャル家 長男  
レオ・マーシャル



ほら早く〜

はい

よろしく



いつもの  
ですか…?

もちろん

じゃあまた  
ご褒美ゲットだ



遡ること  
7年ほど前…



俺がこんな子供の  
命令を素直に  
聞いてしまうのも  
それなりの恩が  
あるからで…



つまり  
命の恩人ってワケ

その時だった…  
坊ちゃんが見つけてくれたのは



元々スラムで  
盗みをしながら  
生きていた俺は

ある時へマをして  
ボコボコにされて  
その辺に捨てられた



それ以来  
坊ちゃんの屋敷で  
働くことになったんだ  
仕事も住居もあって  
給料もでるし…

まあ  
恩を返したいってのも  
ちよっとだけあったかな

そして  
3年くらい前

坊ちゃんが  
森で迷子になって

使用人全員駆り出されて  
大搜索をしたことがあった

やっと恩を返す  
タイミングが来た!!  
と思った俺は

張り切って  
搜索したワケ

結果として、  
奥地の木の洞で  
坊ちゃんを無事発見

俺も恩を返せて  
一安心…

と思っただけど

まあ給料も  
上がるし…

傍で恩を  
返せるわけだし  
別にいいかと  
思ってたけど…

それ以来  
妙に懐かれて

あれよあれよと  
坊ちゃんの世話役に

そ、そう…  
足掴んで…!!

じゅぽ、

じゅぽ  
じゅぽって…  
ヴォルフの口…  
おっきいよお…

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

あ

ゆる

も、もう…  
出ちゃうよう…

ヴォルフの  
口の中につ…!!

ぜ、全部っ…  
全部飲んでっ!!

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

ああ…っ!!

ちんちん  
止まんないよう

み

γ

γ



満点取れたら何でも言うこと聞いてあげますよ

坊ちゃんのやる気を出させるためにご褒美を設定したのに

まさかこんなことになるとは…



わあ、本当に飲んでる…



少しでも断ってご褒美の悪化を防がないと…

いえ、駄目です仕事があるので

えー!!



ねえヴォルフ 僕まだ…



それは坊ちゃんの予定でしょう

この後一緒に外で遊ぶ予定だったのに!!



坊ちゃん!! パンツ!!

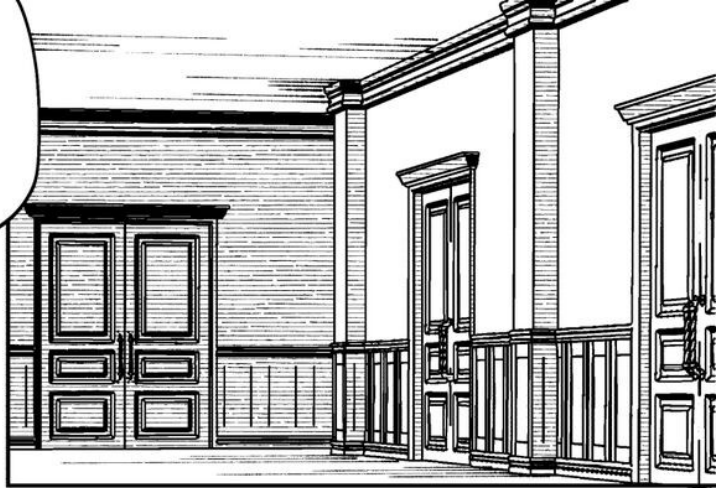
いいよ!! 僕がパパを説得するから!!



レオから聞いたぞ

どうした  
ヴォルフ  
仕事を休みたい  
らしいじゃないか

レオのパパ



いや、いいんだ

お前が良ければレオに  
付き合っただけでレオに

もちろん仕事に  
戻りますので…



旦那様  
申し訳ありません

かくかくしかじか  
でして…

はっはっは!!  
なるほどな!!

またレオの  
わがままか!!



いえ、こちらこそ  
旦那様方に頂いた恩を  
返しているだけです

レオ様のことは  
このヴォルフに  
お任せください



まあ家では  
この通りまだまだ  
わがままな息子だが…  
これから  
よろしく頼む



お前が傍に付いてから  
レオの素行もよくなつてな

評判も良いんだ

ご褒美  
上げるから  
だろうな…



情けないことだが  
私も仕事ばかりで  
レオとの距離を  
測りかねることもある

間にお前がいることで  
非常に助かっているんだ



もう射精るからっ…!!

じゅ

びゅ

ぷる

ぷる

じゅるる

じゅるる

と言ったものの…  
二人っきりになると  
ご褒美ばかり  
せがんできて…

ヴォルフっ…!!

もっと  
奥舐めて…!!



は…っ!!

あっ

あふっ…

ヴォルフ…

じゅるる  
じゅるる

はー

はー

ちんちん  
止まんないよお…







夜

そ、我慢できなくなっちゃってさー

坊ちゃん…私を呼んだのはまさか…

お・ね・が・い

パパに僕の事任せてたじゃん

だめです!!

こういうことではありません!!

えー

私は坊ちゃんが正しく健やかに成長できるようにお手伝いするのです

このようなご褒美も今日で終わり!!  
今後は控えてください

でもさ…  
こういうデリケートな感情ってどう整理すればいいかわからなくて…

頼りになる人がヴォルフしかいないしさ…

坊ちゃん…  
頼って頂けるのは光栄なことですが…  
やはりですね…





大人を  
誑かそうなんて  
早いですよ

ちよっと急に...

裏側  
ごりごりって...

ヴォルフの指...  
太いっ!!

押し出されてっ

射精る!!











はあ…

坊ちゃんに  
会うのが  
気まずいな…



おはよう  
ございます  
ヴォルフさん

おはよう  
ございます

おはよう

おはよう  
ございます



なぜ俺は昨晚  
あんなことを…  
旦那様に  
顔向けできん…!!

いや…  
なぜ何も全て  
坊ちゃんが悪い  
じゃないか…

あんな姿で  
求められては  
流石の俺も反応  
してしまう…



それに今は  
思春期特有の昂ぶりを  
融通の利く俺に  
吐き出しているだけ…

己を強く持て…  
ヴォルフ

はっ  
じゃないよ  
朝ごはんの後は  
お勉強でしょ？

もう  
何をもちもた  
してんのさ



はっ…  
坊ちゃん

ほら、早く行こ



まさか  
全教科満点  
とは…  
苦手な  
数学まで…

すごいことよ…

まっ



全部面倒見てくれてる  
ヴォルフのおかげだよ  
ありがとね

坊ちゃん…!!



それで  
張り切っちゃった

最近パパがさ  
勉強頑張ってるねって  
褒めてくれたんだ



僕が  
寝てる間に…

あんなこと  
したのに…?



ご褒美はもう…!!  
大丈夫大丈夫  
ご褒美じゃないから  
それに…  
ヴォルフに拒否権  
あると思ってるの?

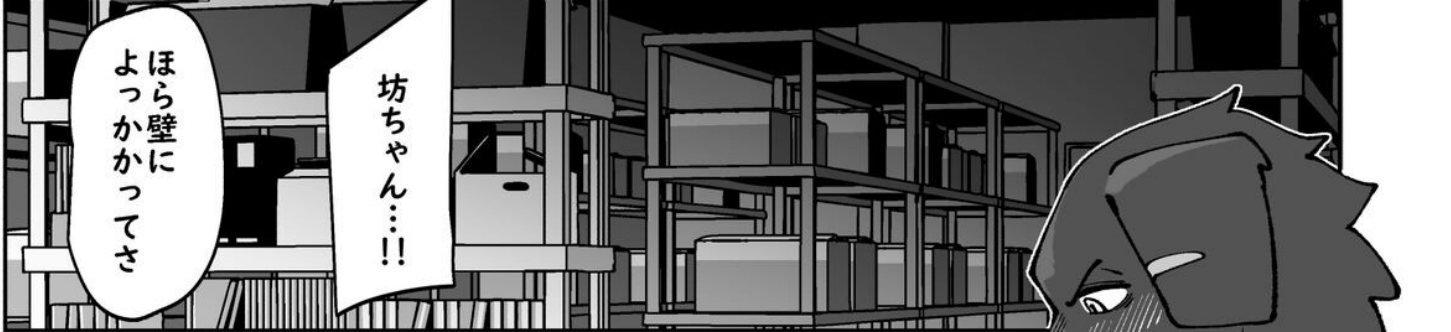


でさ…  
ひとつお願い  
なんだけど



純粋な気持ちで  
勉強も頑張っている  
坊ちゃんに…  
俺はなんて  
ことを…

罪悪感



ほら壁に  
よっかかってさ

坊ちゃん…!!



ぐっ…  
やはり  
起きてられて  
たんですね…

それとも  
昨日の夜の事  
パパに言いつけ  
られたいの？



何でも  
いいでしょ？  
ヴォルフに拒否権  
無いんだからさ

一体何を…



ベタついた液体を顔に  
ぶっかけてられたら  
誰でも起きるっての

そりゃあヴォルフの  
でかい図体で  
跨られてさ…



やめっ…  
駄目です  
坊ちゃん!!

窮屈そうだから  
出してあげるね



わ…  
熱くなってきた



ぼっ…  
坊ちゃん…!!

ほら、よしよし  
怖くないよ

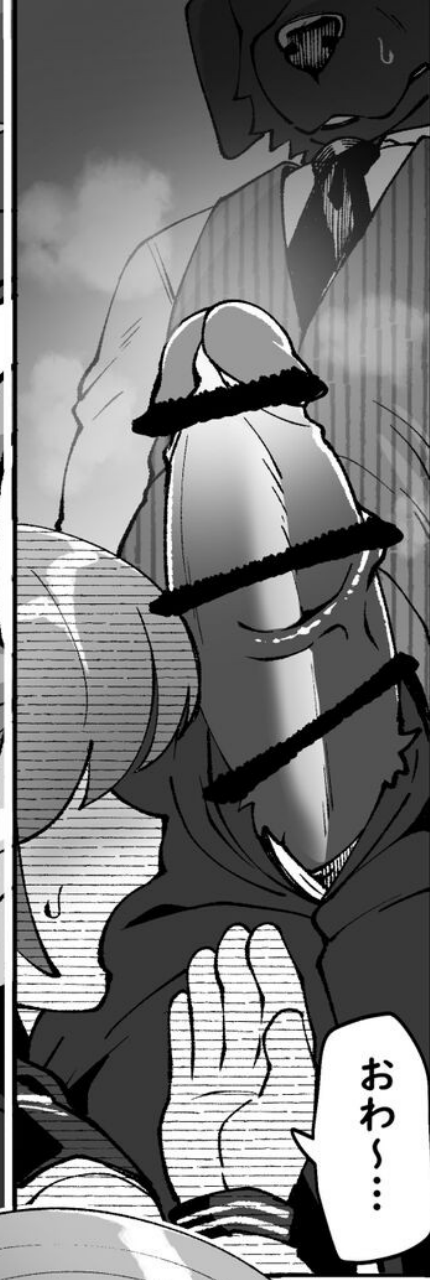
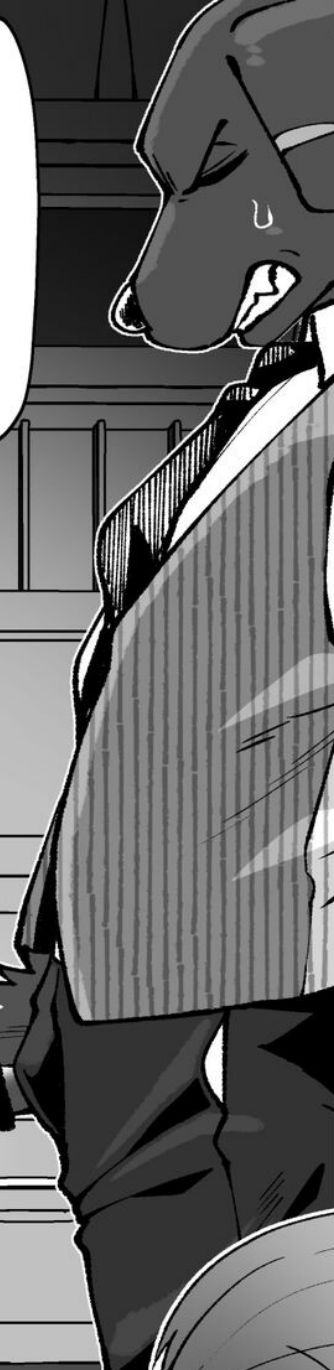
ほら、観念してさ

なで  
なで

ふん

どうやってズボンに  
収まっていたの…？

旦那様…!!  
申し訳ありません…!!



わふっ

おわ…



んあ

僕も初めてだから  
ある程度は  
覚悟してよね



まあまあ  
深く考えなくて  
これは僕からの  
お礼ってことで



ああ、そんな…

坊ちゃんが私のを…  
そんな奥まで…!!



って言うかこれ…  
口に入るかな…



っていうか初めて…  
これが初めて…

本当か…!?



筋の裏側を  
こそぎ落とす  
ような舌使い…

何分も我慢  
できんぞ…!!



小さな口いっぱい  
吸い付いて…



あうっ!!

私は坊ちゃんの  
健やかな成長を...

やはり  
こんなことは...



痛くない?  
大丈夫?

そ、それは...  
大丈夫ですが...



はぱん



僕の中に  
精液をたっぷり  
注ぎ込みたい...

なんて  
思ってたんじゃ  
ないの?

そ、そんな  
わけ...!!



僕にキスしてる間も  
お尻を触ってる間も

僕が寝てる間に精液を  
顔にぶっかけるなんて

僕をそういう目で  
見てたってことでしょ?



うあっ!!

ぽ、坊ちゃん...  
裏スジを...

先っちょぱくぱく  
してきたよ

穴の中も  
舐めてあげる



先っぽ弱いんでしょ  
もうわかっちゃったよ

ちんちんこんなにして  
説得力あるの?



ぼっ…  
坊ちゃん…!!

がぼ

そんな一生懸命に  
されたら…!!

すぐにっ…

おぼ

おぼ

おぼ

申し訳  
ありません…!!

口の中に…



にゅぶ

喉奥で締まって…  
玉まで転がされて…

坊ちゃんの口から  
逃げられない…!!

しゅぶ

ぶぶ



ごめんね射精させて  
上げられなくて…  
僕初めてだし…  
ヴォルフの大きいし…

いや…  
その…



…?  
まさかもっと  
してほしかった?

そ、そういう  
わけじゃ…



やっぱり…  
まだ練習が  
必要かなあ

ねえヴォルフ…  
夜にまた…  
続きしてもいい…?

じゅる



あー疲れた

はへー

へ…?

だん

いし



この後も何を  
してくるか  
わからんからな...

なるべく  
坊ちゃんから  
離れて...

ヴォルフさん

夜にまた  
練習するんだから  
それまで自分で  
しちゃ駄目だよ

また口でして  
欲しかったら  
夜まで我慢しろ  
ってことか...

まったく..  
坊ちゃんの  
ペースだな  
これじゃ..

坊ちゃんに  
寸止めされてから...

収まらん...!!



ひく

坊ちゃんが  
呼んでますよ  
至急来て欲しい  
だそうです

お風呂まで

ホ

僕が背中を  
流してあげる!!

さ!!  
ヴォルフ!!



いつも面倒見てくれて  
ありがとうって気持ちのさ!!

これも僕からの  
お礼だよ!!



話聞いてた?  
僕がヴォルフの背中を  
流してあげるんだよ!!

なぜ私が  
お風呂の世話を...  
いつもメイドの方が  
やっていたのでは



あーあ...  
断られると  
口軽く  
なっちゃう  
かもなあ...



いやこれは...

なんて前  
隠してるの...?



僕の言いつけ  
守ってんじゃん

そうだよね  
僕が夜に練習  
するんだからね



どっ...  
ひゃあ...



まあ、これはこれで  
とりあえず  
背中流すから  
座って後ろ向いて



よいしょー!!

すいません

今のところ何も  
無さそうだな

早くこれを  
鎮めないで…

坊ちゃんに  
いたずら  
される前に…

もう!!  
ヴォルフの  
背中デカすぎ!!  
床掃除用のブラシ  
持ってこようかな!!



ぬし

坊ちゃん…  
何を…

僕自身も洗えて  
一石二鳥じゃん  
尻尾も  
足で洗ってあげる

手じゃ広すぎるから  
全身使って洗ってんの

ヴォルフの体って  
泡立ち凄いなだね

ぬし

ずり

ずり

ずり

ぬし









よく我慢  
できたね

ヴォルフ

がちゃ



僕の言う事を  
しっかり守れたんだ

えらいよ

とっても…



ふふ

わかったよ

こっちおいで



それは…  
謝りますから…!!

もう限界で…



でも…  
ヴォルフが  
こういうのは  
最後にしようって  
言ってたし…

やっぱり  
やめとおいた方が…

がちゃ

がちゃ







坊ちゃんの喉奥…  
すご…

んぐむー!!

ぼた ぼた



ふん!!

ぐんぐん



ずん

がぼ

ぎゅうぎゅうで…  
締め付けが  
気持ちいいです…!!

んぐ

おん

おん  
あん



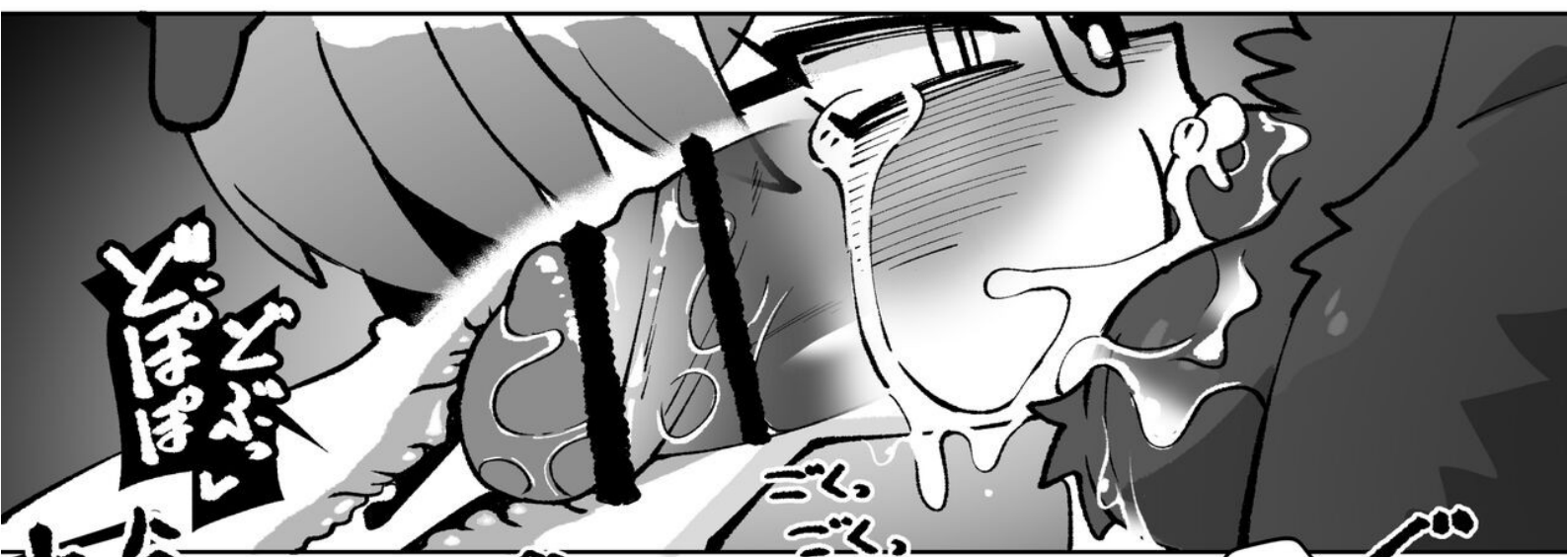
ずっと貯めてた分  
全部ツ!!  
坊ちゃんの中に…!!

ぐん

ん!!

はあ…!!  
もう射精ますっ!!

むん!!



うお…  
ああ…  
引き抜くと…  
尿道に残った  
精液まで…!!

おお…  
射精も…  
腰も…  
止まらない…

む…  
む…  
む…

む…  
む…  
む…

む…  
む…  
む…

む…  
む…  
む…



はあ…

坊ちゃん最高でした

はー

はー

げほ



まだガツチガチじゃん

どんだけ僕と  
やりたいのさ

どに



だっ…

出しすぎっ…!!

喉奥苦しいよ  
ヴォルフ…!!

んー

す、すいません…  
つい興奮して…



しようがない  
にやあ

まずは入念に  
準備よろしくね



丹念にお尻舐めといて何言ってるの…

坊ちゃん…流石にこれは…



ちよっときついかも…

でも…先っぽしか…

ヴォルフが僕のお尻を沢山弄ってたのも本当はこうしたいからだったんでしょ？

そ、そんなこと…



ははは  
な...!?  
なんで...!!



ゆさゆさ  
だめっ!!  
あっ!!  
あんっ!!  
それじゃあ  
遠慮なく...



だ、だいじよ...  
なわけっ...!!  
お手伝いしようかと  
思っています...  
大丈夫ですか?



お腹の中...  
ギチギチに  
詰まって...!!



もう動いちゃだめだからね...

ああっ...

あんっ

ぽむ

ずる



これは僕からのご褒美なんだから

減茶苦茶 狭くて...!!

僕がしてあげるんだからね

なにに全部 飲みこんで...

これが 坊ちゃんの中...!!

熱湯の中に入れてるみたいなの熱さだ...!!

どろどろで ヌルヌルで...

ずる

ぎゅ

ぎゅ

ふー

ふー



ほら  
ヴォルフ



雇い主の…  
パパの…

息子の中に  
射精したいんでしょ？



しかも…  
この光景…  
気が  
狂いそうだ…



我慢しないでさ  
僕の中に全部  
出しちゃいなよ  
そうすれば  
嫌でも  
わかるでしょ？



ほらほら!!  
射精  
しちやえって!!

あーっ  
うんっ  
うんっ

ヴォルフが…

僕のものだってさ

ヴォルフの命は  
僕が救ったんだよ

だからヴォルフは  
僕のものなのに

それをわかって  
ないようだから  
ヴォルフの体に  
教え込んでるんだよ

ご褒美っていう  
甘い蜜をさ

はが

ご褒美を  
欲しくなって

沢山射精して…

僕から離れられなく  
なるでしょ？

そしたら  
僕を見るたびに

自分の匂いが  
沁みついた  
僕を嗅ぐたびに…

ちがう？

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん





はあ…  
どんだけ出す…の…



ヴォルフ…!!  
なに勝手に…!!

僕の言うことを…  
んいっ!!

でも、これで  
わかったでしょ?  
僕のご褒美が  
欲しかったら…



へ...?

ちよっ  
ストツ...

飽くまでも...  
僕主体で...

あっ!!  
だから...

ヴォルフ  
やめてって...



ヴォ...  
ヴォルフ...?  
なにして...



いつっ!!

ほれ

足開け

何って...  
ご褒美  
くれんだろ?

あ!!!

ぐわっ

まって...!!

ヴォル

あ!!!

ぼん

ぐわっ

今日は散々  
振り回されたからな  
後は俺の自由  
させてもらうぜ

ぼん

ぐわ

あ!!!



なんだ？

まだ強がる  
余裕があるのか？

ヴォ...

ヴォルフ...

やめっ...

ぼろ

はー  
はー



ほらよ

何言ってるか  
わからかねえぞ

どす

はーはー



しっかり喋れ!!

どす  
どす

はーはー  
はーはー



だろうと  
思ったぜ

ほらしっかりしろ  
満足そうな  
顔しやがって

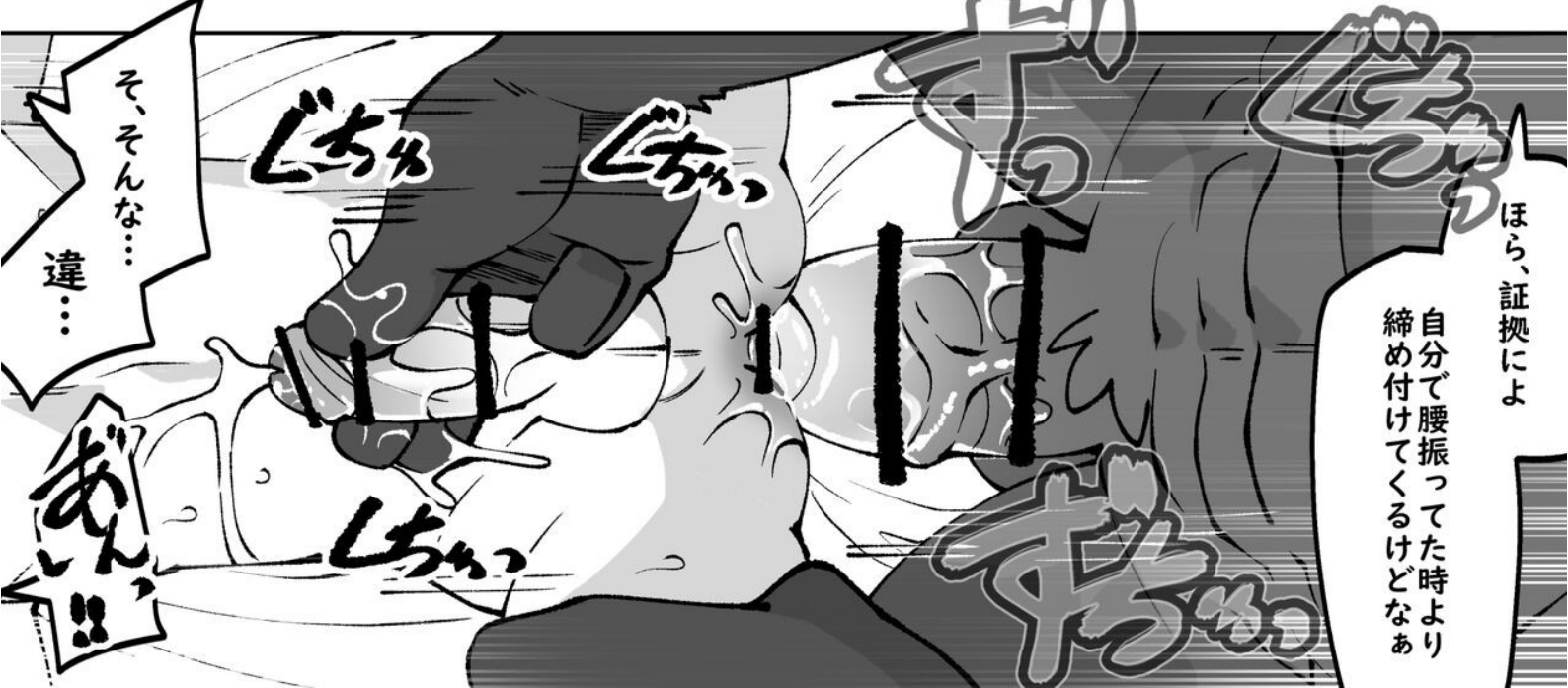


本当はこうやって  
無理矢理襲われ  
たかったんだろ？

ずっと  
余裕ぶって…  
上から俺を焦らし  
続けてたけど…



そっくり  
返してやるよ  
坊ちゃん



そ、そんな…  
違…

ほら、証拠によ  
自分で腰振ってた時より  
締め付けてくるけどなあ

ほら、認めちまえよ!!

ぐ

大きな獣人に

抵抗できないように  
押さえつけられて!!

はっ!!

ぐふふ

おっ!!

はっ!!

ぱん

犯された  
かったんだろ!?

こうやって  
無理矢理!!

食べられてる  
みたい!!

おっ!!

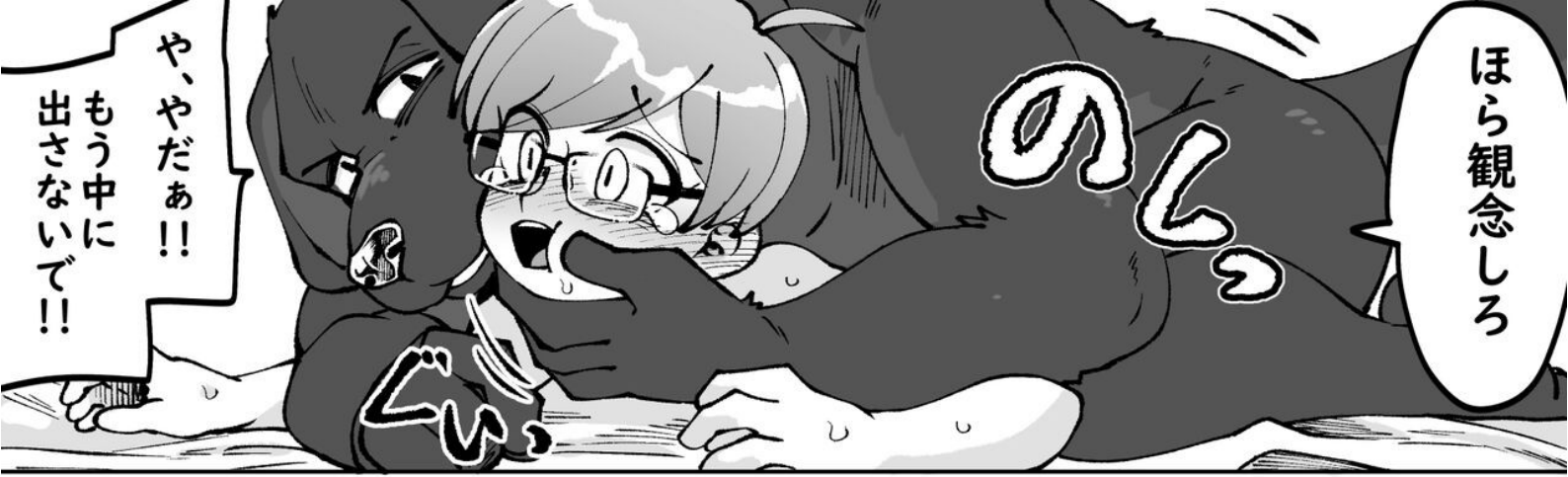
あ











ほら観念しろ

のっ

ぐい

や、やだあ!!

もう中に  
出さないで!!



お、おおっ...

お、入る...

ぐい

おっ



まだまだ  
足りねえだろ?

あっ

や、やだっ...

おっ



おいおい  
自分から尻  
上げてんじゃ  
ねえか

とんだ  
エロガキだな

ぐい

おっ

おっ

おっ

おっ  
おっ  
おっ



あー!!  
深い!!

どす

どす

どす



さっきまでの威勢は  
すっかり  
無くなっちゃったし  
今度は俺が  
教えてやらないと  
いけねえようだな!!

ぐぼ

ぐぼ

どす

どす

ぐぼ

どす

あー!!



俺の物だってな

坊ちゃんは…



俺が上からも  
下からも



たっぷり  
マーキングして  
体に教え込んでやるよ



ほら、顔向けて  
口開けろ



そうすれば  
俺を見るたびに  
犯して欲しくて  
たまらなくなるだろ？

本当いい家に  
拾ってもらえたよ

金も仕事も  
手に入って

俺の言いなりの  
おもちゃも  
手に入ったしな

ほら  
言え!!!

俺の物に  
なるってな!!

またこうやって  
犯してほしいんだろ!!

レオ!!

なるっ…

びよっ

僕の…

お尻も…

ちんちんも…

全部…!!

ヴォルフの物に…

お尻

カ

3





いや〜…  
出した出した



坊ちゃんも  
これに懲りたら…

ぐす…  
ひん…



でも、こうやって  
大人をからかうと…



ぼ、坊ちゃん…  
すいません  
ちよっと  
やりすぎました



ぼ、坊ちゃん…!?

また騙された〜



まさか…

これがパパに見つかつたらどうなるんだろうね



まだわからないの？



自分から外堀埋めちゃうんだもん

ヴォルフだったら…



あーあーもう乱暴にしてくれちゃって…

手のあざも…

首の齒形も…

お尻も痛いなあ…

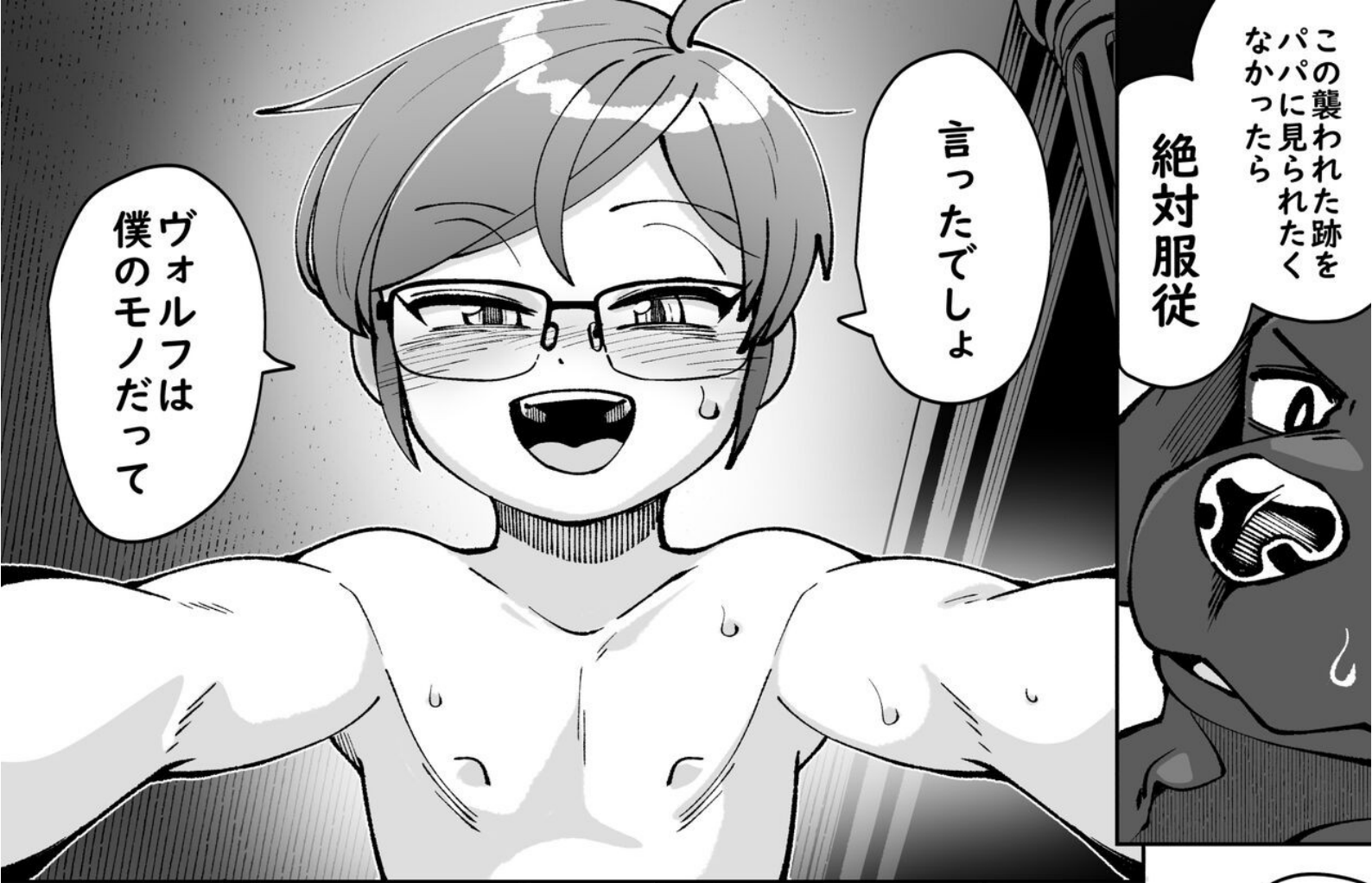
いたいな〜

この襲われた跡を  
パパに見られたく  
なかったら

絶対服従

言ったでしょ

ヴォルフはって  
僕のモノだって



あーあ  
反抗的な目  
しちやって

跡が消えたら  
何とでもなるって  
思っていない？

無理だよねえ

僕の体見ただけで  
そんなになっただもん





だからもし  
傷が治っても

また焦らして  
襲わせるだけだよ

だ...

だったら...!!

ギリ

10...  
12...  
13...  
14...

10...  
12...  
13...  
14...



生意気な事  
言えなくなるまで!!

徹底的に体に  
教え込んでやるよ!!

びっ

びっ



すんすん

おすわり



まて



なで

えらい えらい

.....?

なで

ハイ  
よくできました



はっ はっ

ぼ、坊ちゃ...

絶対服従

まずは  
お仕置きだね

僕が許可  
するまで  
射精禁止

ぐわん

ぐわん



これが「しつけ」

ヴォルフの体は  
僕に服従したよ

ぶん

ぶん



何とかしないと...

坊ちゃんの方が  
一枚上手だったとは...



わふ

はっ

はっ

はっ

はっ



お仕置きは...  
とりあえず  
保留で  
第2回戦ね

あーん

あっ!!  
坊ちゃん!!  
今射精した  
ばかり...!!

はっ

なに...?  
僕のお尻見て  
また射精したく  
なっちゃった?

はっ

はっ



ヴォルフ早く!!

今日は  
外行くよ!!

坊ちゃん!!

この後は  
勉強の時間  
ですよ!!



今日も朝から  
大変だな



まったく  
もう...



ほら早く!!

